

## 第 43 回基準諮問会議

2021年11月29日に第43回基準諮問会議（議長 湯浅一生 Ridgelinez(株) 取締役副社長）がウェブ会議にて開催され、審議が行われました。詳細については、財務会計基準機構ホームページ ([https://www.asb.or.jp/jp/project/standards\\_advisory.html](https://www.asb.or.jp/jp/project/standards_advisory.html)) において「議事概要」を公開していますのでご覧ください。

### （審議事項）

#### 1. テーマの提言について

今回の基準諮問会議に寄せられた「株式報酬に関する会計処理及び開示の取扱いの整備について」は、提案者である日本公認会計士協会より提案理由の説明がなされた。その後、事務局から、以下のとおり、会計基準レベルと実務対応レベルに分けた上で、次回以降の基準諮問会議で審議したい旨の説明が行われた。

テーマの内容	レベル及び対応
(1) いわゆる現物出資構成による取引に関する会計基準の開発	実務対応レベルとして、実務対応専門委員会にテーマ評価を依頼する。
(2) 現金決済型の株式報酬取引に関する会計基準の開発	会計基準レベルとして(3)と合わせて事務局において論点整理を行う。
(3) インセンティブ報酬に関する包括的な会計基準の開発	会計基準レベルとして事務局において論点整理を行う。

基準諮問会議の委員より述べられた意見を受け、議長より、事務局の対応案どおり進める旨の発言がなされた。

#### 2. 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

企業会計基準委員会（ASBJ）事務局から、企業会計基準委員会の最近の活動状況について報告が行われた。

基準諮問会議委員より、日本基準の開発については、リース会計、金融商品（減損）、その他の日本基準の開発（金利指標改革に起因する会計上の問題、開示（注記事項）に関する方針の整理）に対する意見が聞かれ、国際対応については、のれんの償却に関する国際的な議論、開示原則、IFRS 第9号の適用後レビューへの対応等に対する意見が聞かれた。